

心臓血管放射線研究会学術研究助成  
学会報告記

氏名 横井 敬弘

所属機関名(発表時) 愛媛大学大学院医学系研究科放射線医学

発表学会名 10<sup>th</sup> Asian Society of Cardiovascular Imaging Congress (展示発表)

学会開催年月日 2016年8月4日～6日

演題名 Permissible Sampling Rate of Whole Heart Dynamic Computed Tomography Scan Leading Myocardial Blood Flow for Clinical Use

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

◇本文

2016年8月4～6日にシンガポールにて開催された 10th Asian Society of Cardiovascular Imaging Congress (ASCI 2016) に参加させていただきました。本会は皆様ご存知のようにアジア圏を中心とした循環器イメージングの学会で、毎年アジアの様々な国で開催されています。私は昨年度から大学院に入学して循環器イメージングの研究に携わり始め、昨年に続いての参加となりました。今回の開催地シンガポールは国際的にも金融の中心地で、「最もビジネス展開の良い国」と言われており、都心部を中心に近代化の進んだ整った街並みとなっていました。また観光名所であるマーライオン像は国内に5箇所も設置されており、マレーシアのシンボルとして存在感を示していました。

今回も昨年同様に、一般演題、シンポジウム、ポスターセッションを中心として構成され、各種モダリティによる循環器イメージングに関して幅広く扱われた内容となっていました。私はポスターセッションで心臓 CT の心筋血流量定量評価に関する演題で発表をさせていただきました。国際学会での発表はまだ数回しか経験がなく、英語での発表に四苦八苦してしまいましたが、新たな視点から自分の演題に関して意見をいただき、大変勉強になりました。

2日目の夜には Congress Dinner に参加し、各国の先生がたと交流しながら、シンガポールの郷土料理を美味しくいただきました。ダンスやヘビとの写真撮影などイベントも盛りだくさんで、非常に楽しませていただきました。また、シンガポールの観光名所の一つである「ナイトサファリ」も訪問させていただきましたが、世界でも有名な動物園と言われるだけあり、夜にもかかわらず各国から多数の観光客が集まって大盛況でした。

今回、学会に参加してアジア諸国の研究発表に刺激を受け、引き続き日々の研究活動に精を出していきたいと感じました。次回の ASCI 2017 にも参加することができるように、また気持ちを新たに研究に励みたいと思います。最後に、今回学会参加費を助成してくださった心臓血管放射線研究会の皆様方に、心より感謝申し上げます。

(写真はオープニングセレモニーの風景)

